

日本保健物理学会
会員各位

「自然放射性核種を含む廃棄物の放射線防護に関する専門研究会」では専門研究会の議論を高めるために広く意見を交換すべく下記のとおりシンポジウムの開催を計画しております。

つきましては参加ご希望の方(保健物理学会非会員の方も歓迎です)は資料準備の都合がございますので、幹事までご連絡願います。

連絡方法は本文最後に記載しています。

【自然放射性核種を含む廃棄物の放射線防護に関する専門研究会 シンポジウム】

1. 日 時:平成 30 年 9 月 20 日(木)13:30~17:00 (受け付け開始 13:00)
2. 場 所:東京大学工学部 3 号館 31 教室

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_04_j.html 参照

3. プログラム・講演者等 添付資料参照
4. 会費:無料

【問合せ先】

専門研究会代表幹事 小林慎一 s-kobays *jsnm.or.jp

(お問い合わせの際は*を@に変更して下さい)

【参加申込み】

参加ご希望の方は題名を「自然放射性核種シンポジウム参加希望」とし

所属氏名を本文に記載の上、e-mail にて上記小林のメールアドレスにお送り下さい。

またシンポジウムテーマに関して意見をお持ちの方は予めメールにお書きそえ

頂ければ幸いです。

添付資料

自然放射性核種を含む廃棄物の放射線防護に関する専門研究会 シンポジウム (2018年9月20日)

東京大学工学部 3号館 31教室

- | | | |
|----------------|---|-------------|
| 参加受付 | | 13:00～ |
| 1. 開会挨拶 | 吉田 浩子 保健物理学会 企画委員長 | 13:30～13:35 |
| 2. 招待講演 | 山田 憲和 原子力規制庁 技術基盤課
「中深度処分に係る規制基準の検討状況について」 | 13:35～14:20 |
| 3. 基調報告 | 下 道國 専門研究会主査
「専門研究会における検討状況と課題」 | 14:20～14:50 |
| <休憩> | | 14:50～15:00 |
| 4. パネルディスカッション | | 15:00～17:00 |
| 座長 | 飯本 武志 国立大学法人 東京大学 | |
| パネラー | 岩岡 和輝 国立大学法人 弘前大学 | |
| (五十音順) | 大越 実 (公社) 日本アイソトープ協会 | |
| | 財津 知久 (国研) 原子力研究開発機構 | |
| | 杉山 大輔 (一財) 電力中央研究所 | |
| | 麓 弘道 三菱原子燃料(株) | |
| テーマ | (1テーマ 20～30分、ディスカッション前に担当パネラーからテーマに関して、基本的な紹介プレゼンテーションあり) | |
| | 1) 計画被ばく状況と現存被ばく状況について | |
| | 2) 除外・規制免除及びクリアランスに関する放射線防護基準について | |
| | 3) 長期の時間スケールと不確実性の扱いについて | |
| | 4) ラドンの扱いについて | |
| | 5) 社会的側面 (世代間の公平性、環境倫理的側面) について | |
| 5. まとめ | 下 道國 専門研究会主査 | 17:00～17:10 |